

“フリーフリーパレスチナ”

”ストップジェノサイド“”ガザへの爆撃やめろ!“

パレスチナの武装勢力「ハマス」のイスラエルへの攻撃(10/7)をきっかけに、イスラエルのガザへの全面的封鎖・爆撃が続いており 11/1 現在パレスチナの市民・子どもなど 8000 人以上が、イスラエルの 1400 人の人々が亡くなっています。

「これ以上の戦いをやめるべき、今すぐ停戦です。」

しかし米国はイスラエルの軍事行動を支持し、空母打撃群を 2 群も地中海に配備しました。イスラエルはガザへの“軍事封鎖、水・食料・医療・エネルギーのストップの上での爆撃”だけでなく、更に 30 万人以上の軍隊を整えガザ北部への地上侵攻を開始しています。種子島ほどの面積のガザに住む 225 万人の半分 110 万人を北部から退去させていますがエジプトとの唯一の通路も封鎖しています。まさに“ジェノサイド”です。



11月1日抗議行動

すでにヨルダン川西岸のパレスチナ自治区は、自治区とは名前だけでイスラエルに攻撃され多くのイスラエル人の入植地が進みパレスチナ自治区とは呼べません。“アパルトヘイト政策”も進められています。ガザ地区も同じようにパレスチナ住民を排除しようとするのか？

あまりにも非人道的な目標なので世界中から「パレスチナ人民支援」「イスラエルの非人道的攻撃やめろ!」「イスラエルのガザへのインフラ(水・食料・電気・医療品・燃料等)閉鎖をやめろ!」との声があがっています。

東京麹町のイスラエル大使館へ抗議の声を上げようと多くの市民が夕方から集まりました

(2023年10月16日)。警察によって道路が封鎖され、市民はイスラエル大使館から遠く離れた麹町駅近くの路上(歩道)に押し込められた状態(600人)での抗議行動です。



10/16 抗議行動

リレートークではハマスによる“人質”は即解放するよう訴えると同時に、1948年のイスラエル建国にいたるまでのイギリス・米国・欧州帝国主義国家による中東政策の問題が指摘されました。

イスラエル建国により排除されたパレスチナ住民への今までの抑圧状況への批判が次々と訴えられました。

「子ども達を虐殺するな」「フリーフリーパレスチナ」「ガザ地区の軍事封鎖・インフラ閉鎖はジェノサイドだ」「爆撃するな」と。

世界中からの「ストップストップ・ジェノサイド」の抗議にもかかわらず、イスラエルはガザへの全面封鎖と爆撃を、地上侵攻を止めません。イスラエル大使館への市民の抗議行動は続いています(11/1)。

ガザは“天井のない監獄”、パレスチナ自治区へイスラエルの入植

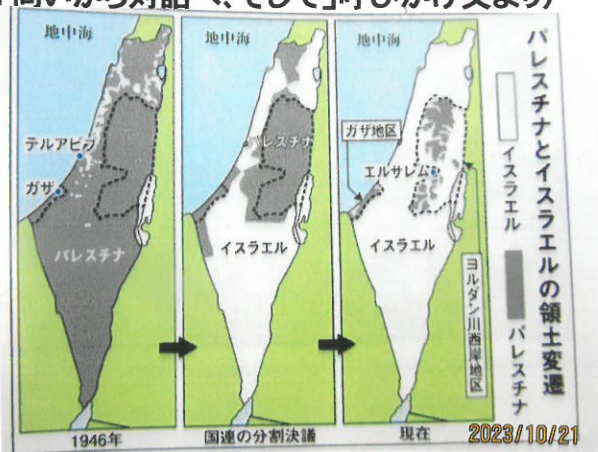
放送大学の高橋氏はパレスチナとイスラエルの状態を説明します。「これまでヨルダン川西岸自治区

でのイスラエルによる侵攻と抑圧状況(ほとんどイスラエルの入植地に)と共に、軍事封鎖され水・食料・医療品・電気も搬入がストップされた上での爆撃といった「天井のない監獄」と化しているガザ地区への軍事・経済的抑圧によって、もうガザ地区は“圧力釜にどんどん火がくべられて爆発寸前の状況だ。ハマスの軍事行動はその爆発です」と指摘しました。

他の中東ジャーナリストも指摘します。「ハマスによるフェンスや壁を越えてイスラエル領内深くに1000人を超える戦闘員の奇襲攻撃は…1948年のイスラエル建国宣言から、たえず敗北と被虐を積み重ねてきたパレスチナ人の反占領抵抗運動の激しい反撃」「この出来事の奥に潜む世界の重大な動きを見ていくべきでは…パレスチナの人々が75年にわたって背負わされ続けている過酷な現実生命がけで立ち向かわざるを得ない姿は、ひょっとして日本人の、いや全人類の姿かもしれないからです」と。(緊急対話集会「人類自滅の縮図ガザ」「問いから対話へ、そして」呼びかけ文より)

オスロ合意はイスラエルとパレスチナの2国の建設が合意されたはず。でもパレスチナの国家建設は空約束。それどころか自治区といわれる地域にはイスラエルの入植地が…。自治区といわれる地域はイスラエルによる軍事封鎖&インフラをすべてイスラエルに握られているまさに“天井のない監獄”なのです。

だからイスラエル大使館への人々の抗議の声は「イスラエルのジェノサイドを中止せよ」「こどもを殺すな」「イスラエルはガザへ地上侵攻するな!」「パレスチナに自由を」と。



「ピースボート」は声明(10/13)で、

“イスラエルとパレスチナにおける暴力の激化、そしてかつてない規模での人命の損失に慄然とし、心を痛めています。”

“私達は世界最大級の軍事力による容赦ない爆撃に昼夜を問わず直面しているガザの人々と共にあります。爆弾は地球上で最も人口密度の高い地域の学校や病院、住宅に降り注いでいます。すでに16年間の封鎖に耐えてきたガザの人々は、集団的懲罰として水、食料、燃料、電力を拒絶されています。病院は限界に達しています。”

“直ちに必要な優先事項は、双方が即時かつ無条件に停戦して殺りくを終わらせること、そしてガザに連れ去られた人質を無条件に解放し、人道支援機関のガザへの全面的なアクセスを許可することです。”

“今日の暴力の根本的原因は、パレスチナ人に対する長年にわたる継続的な抑圧、…国際社会はパレスチナの人々に背を向け、イスラエルがパレスチナの土地への違法な入植地拡大を平然と続け、ガザの人々を耐え難い人道的状況に追いやることを許してきましたのです。”

“占領に終止符を打ち、イスラエル人とパレスチナ人双方の安全、自由、自決権を尊重する解決策を”と訴えています。



一日も早くパレスチナ人民とイスラエル人民に平和を!